

# 豆田町並み通信

第38号

発行者  
豆田町伝建  
保存会  
23年9月

## 新市長就任挨拶



日田市長  
原田啓介

8月23日、新市長を表敬訪問し挨拶を頂きました

このたび、市民の皆様のご信任を受け、日田市長に就任しました原田でございます。

市長に就任して、はや一ヶ月が経過しましたが、まさに激務といえる毎日を過ごしております、あらためて市長という職責の重さを感じるとともに、みんなが誇れる素晴らしい日田市を築いていこうという意欲をますます強くした次第です。

さて、豆田町伝建保存会の皆様には、平素より豆田町の伝統的建造物の保存、継承活動はもとより、豆田地区のまちづくりにご尽力いただき、心より敬意を表します。

あらためて申すまでもありませんが、豆田地区は、江戸時代に九州における政治・経済の中心地として栄えた商家町であり、江戸初期の町割の形態をよくとどめ、歴史的な景観を形成しています。

この貴重な町並みの保存とまちづくりを、地域住民と行政とが協働して取り組んできた結果、平成十六年十二月、県下で初めてと

なる国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、その後、伝統的建造物群保存事業等により四十数件もの修理修景事業に取り組み、豆田町が一步ずつ往時の輝きを取り戻しております。

豆田町で商売をしている者のひとりとして、この町を誇りに思いますとともに、市長として、地域の皆様のご理解とご尽力に感謝申し上げる次第でございます。

今後も引き続き、修理修景事業に取り組んでまいりますとともに、現在計画を進めております防災センターの整備につきましても、皆様のご理解ご協力のもと、安全・安心のまちづくりを推進してまいります。

私は、市政運営にあたりまして、これまでの行政主導による事業推進を見直し、市民の皆様と話し合いながら、各種事業を進めていく所存です。

そのため、豆田の酒蔵活用基本構想につきましては、一旦白紙に戻すとともに、その上で、地域の皆様と一緒に、どのように残していくかについて話し合っていきたいと存じます。

最後になりますが、豆田町伝建保存会の益々のご発展と地域の皆様方のご健勝をご祈念申し上げます、就任のご挨拶いたします。

## 千年あかり作業始まる！

本年度の千年あかりに使用する竹の伐採作業が九月十一日（日）、東有田の山林で関係者三十名が参加して行なわれました。

この日は約三五〇本の竹を伐採し、加工場所になる石井工業団地内の旧産業工芸試験場に搬送しました。

九月二十五日（日）にも竹伐採作業を行う事にしており、実行委員長の財津忠幸さんは多くの方の参加をお願いしたいと話していました。



切り出した竹を搬出する参加者

### 竹伐採作業のおしらせ！

日時 九月二十五日（日）午前八時  
集合場所 豆田町秋子想駐車場  
伐採場所 東有田諸留 後藤氏竹林  
簡易昼食は実行委員会でご用意します  
連絡は木下 ☎二二―二九一三まで

## 咸宜園教育研究センター 定期講座開催！

九月九日（金）、パトリア小ホールにて、本年度、第一回目の咸宜園教育研究センターの定期講座が開催され、「塩谷代官と廣瀬淡窓」と題して廣瀬資料館理事長（豆田町伝建保存会会長）の廣瀬貞雄氏が講話をされました。

講話では、淡窓日記や塩谷代官の後日談を基に、塩谷代官は自前の教育組織の立ち上げを目論んで咸宜園の教育に様々な干渉を行なったが、廣瀬家とは良好な関係にあり、かつ咸宜園教育を高く評価していたとの説明をされました。

今後は、十二月二十五日まで七回の定期講座が行なわれる事になっており、参加希望者は咸宜園教育研究センター（☎22―0268）まで問合せ下さいとの事です。



講話を行なう廣瀬貞雄理事長

## 永山城発掘調査 現地説明会開かれる！

八月二十八日（日）、市教委の委託で別府大学文化財研究所が行っている永山城の発掘調査について、中間報告を兼ねて現地説明会が開催され、考古学ファンや地元住民七十名が参加しました。

発掘の結果、本丸入口南側の高石垣だけでなく入口北側にも低い石垣（櫓）が存在し、また天守があった北側にも敵兵の進入を阻止する「搦手」があったことが分かりました。

また天守の下の広場には小川光氏や石川忠総が居住した「御殿」の礎石も明らかになりました。

発掘を指導した別府大学の上野淳也先生によれば、本丸部分は保存状態も良く、今後の調査次第では新たな発見も有りうると話していました。



別府大学上野淳也助教の説明に熱心に聞き入る参加者

## 閻魔様まつり で先祖供養！

「閻魔様まつり」が八月十六日（火）、丸の内町の大超寺で行われました。

本堂では大超寺の首藤泰二住職が、寺に代々伝わる「地獄・極楽絵図」の説明を行い、生前の行いによって死後人は極楽と地獄に分かれるなどの講話がなされました。

その後、副住職の打ち鳴らす鐘に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、参拝に訪れた住民や帰省客は先祖供養と共に、家内安全を願っていました。

また、境内では門徒の有志「明照会」の皆さんが「金魚すくい」「ポップコーン」などの屋台を出し、多くの子供達の歓声でにぎわっていました。



地獄・極楽絵図の説明を行なう住職

## 桂林公民館 落成式・祝賀会開催！

七月三十日（土）、桂林公民館の完成を祝って、落成式・祝賀会が関係者八十名が参加して開催されました。

この公民館は総事業費一億五八四五万円をかけて、平成二十二年十一月より、桂林小学校グラウンドの一角に建てられたものです。

式典では橋本成人建設委員長（桂林公民館運営委員会会長）が「生涯教育の拠点として皆様の活用をお願いします」と挨拶を行いました。

以前は中城町の勤労青少年ホームを間借りしていたことから、利用者は「ゆとりをもって活動が出来る」「桂林小学校と一体となった公民館活動も可能だ」などの喜びと期待の声が聞かれました。



式典で挨拶を行う橋本成人会長

## 丸の内ふれあい広場 開場式開かれる！

七月十七日（日）、丸の内にあった旧日田郡高等学校女子寮「清泉寮」の跡地に整備を進めていた「丸の内ふれあい広場」が完成し、その記念式典が地元住民や関係者約百名が参加し開催されました。

開場式では、地元自治会を代表して坂本韶敏会長が整備に尽力された県・市の関係者にお礼を述べるとともに、「この寮を巣立った皆様に立派な公園になったよと知らせてほしい」「来たときよりも美しくをモットーに大事に使ってほしい」と挨拶をおこないました。

この後アトラクションとして、子供会の笛の演奏、マジックショー、岳滅鬼太鼓の演奏が行なわれ参加者全員で完成を祝いました。



開場式で挨拶を行う坂本自治会長